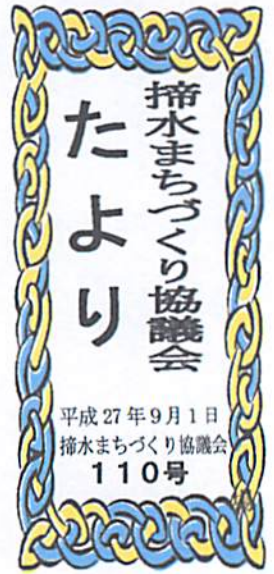


防災訓練(9月20日)に参加しましょう!!

大規模災害が起こった場合、市や消防署、警察、防災関係機関は総力で活動に取り組みますが、同時多発的に119番通報などが入り、道路の破損・ライフラインの遮断などさまざまな要因で迅速な救出救助活動が行えない状況になる

阪神・淡路大地震では、『助かった人の約8割が自力または地域の人たちに救助され、そのほとんどが発生から15分以内に救助されている』という記録も残っています。

全国各地で行われている様々な地域の防災訓練。こうした訓練に参加する意義とは何なのでしょう。か。



掬水まちづくり協議会
たより

平成27年9月1日
掬水まちづくり協議会
110号



自分たちの命は

自分たちが守る。場合がありません。災害の規模が大きくなればなるほど、『自助(自分の身は自分で守る)・共助(力を合わせて助け合い、自分たちのまちを守る)』が重要となります。

私達のまちは近年大きな災害に遭うこともなく平穏な日々を送っています。そんな日常の中で、つい忘れがちになってしまいう防災意識。そんな防災意識を啓発する意味でも、防災訓練は私達住民にとって大切な役割を担っています。自分が災害を生き抜くために、また、周囲の人を災害から救うためにも、地域の人達との交流が図られる防災訓練に積極的に参加しましょう。

九月の行事	三世代CCリング大会 9月6日(日) 8:30~(9時開始) 掬水小学校 体育館 榑田地区防災訓練
	9月20日(日) 掬水小学校 ※詳細は後日お知らせ致します

準備しておきたい非常持出品は?



非常持出品は家族構成を考えて必要な分だけ用意し、避難時にすぐに取り出せる場所に保管しておきましょう。災害発生時に最初に持ち出す非常持出品と、災害から復旧するまでの数日間を支える非常備蓄品を分けて用意しておきましょう。

最低限そろえておきたいもの

非常持出品

懐中電灯

できれば1人にひとつ用意。予備の電池と電球も忘れずに。



携帯ラジオ

小型で軽く、AMとFMの両方を聞けるものを用意。予備の電池は多めに用意を。



非常食・水

カンパンや缶詰など、火を通さずに食べられるものを。水はペットボトルが便利。乳幼児がいる場合には粉ミルクなども忘れずに。



貴重品

現金、預貯金通帳、印鑑、健康保険証・住民票のコピーなど。現金は10円硬貨も(公衆電話の利用に便利)。



救急医薬品

キズ薬、ばんそうこう、解熱剤、かぜ薬、胃腸薬、目薬など。常備薬があれば忘れず用意を。



その他

ヘルメット(防災ずきん)、上着・下着、タオル、軍手、紙の食器、ライター(マッチ)、缶切り、栓抜き、ろうそく、ナイフ、ビニール袋、ティッシュ、ビニールシート、生理用品、紙おむつやほ乳びんなど。



四国八十八ヶ所霊場
歩き遍路物語(四十九)
豊原町 岩塚 章

言葉では表現出来ないこと

遍路旅も終わり、友との語ら
いにも四国だとか年令、経費の
ことなどが話題になっている。
四国に渡れるには・・・

「岩ちゃん、何が揃わないと四
国には行けないのかよ。お前
のことだから、小難しいこと
言い出すのだろう。まあ聞いて
やるよ」

「じゃあ・・・むつかしく言わ
ないよ。あんな、四国に渡る
にはな、『健康』『暇』『些少の
路金』この三拍子が揃ってい
ても駄目なんだぞ」

「それ見る、だからお前って奴
は・・・」
「良く聞けよ。あんな、四拍子
目が欠けたら四国には渡れな
いんだぞ」

「何んじやい、その四拍子目と
は？」
「その四つ目はお大師さんがな、
『四国に来て良いよ』と許
可下さった人のみ四国に渡れ
る。このお許しが四拍子目の
大切な項目なんだよ」

「お前な・・・この世に居ない
人がそんな許可下さる訳ない
じやないか。バカバカしいっ
たらありやしない」
「そりやそうさ。それはな・・・
・俺は誰が何と言おうと、行
つてやる」この根性のある人。
そうさ、この世の老人三拍子
揃っている方『いや、四国に
は行きたいと思ってるが』
『いつか行かへやあかん』
そんな人に四国に行つたため
しなし。本当に行く人は黙っ
ていても行くよ。『もう死んだ
る』と言っている人に限って
死んだためしなしという諺が
あるだろう」
「それもそうだよな。お前の言
う通りだ」
それほど四国お遍路に出るとい
うことは決心のいることである。
まして『歩きで』となると、僕
のようにしがらみのある人が、
懺悔の必要な人か・・・いや他
の人々は清らかなお方ばかりが
歩いていらつしやる。何度四国
に渡つても改心出来ないでいる。
あと何度巡礼出来るのやら・・・
・時が来たら又四国に渡りたい。
つづく

コロッケバーガー、
おいしいよ!!

8月5日(水)、健康福祉部・
はつらつクラブと榊田地区市民
センター共催で(キッズ料理教
室)が榊田地区市民センターの
調理室にて、参加数44名で行わ
れました。

昨年、大変好評だった為、今
年は申し込みが殺到し、急ぎよ
午前と午後の2回することにな
りました。

手洗いから始まり、6年生は
特別にデザート作りをさせても
らい、その間5年生以下の子ど
もたちは収穫したジャガイモを
潰したり、タマネギのみじん切
りをしました。タマネギを炒め
るのも具材をこねるのも、みん
なで順番にやり、初めての体験
に恐るおそるヘラを持った子に
は、はつらつクラブの方が後ろ
からやさしく一緒に持つて下さ
る姿が微笑ましく見えました。

思い思いの形に作った種がコ
ロッケ、そしてバーガーになつ
た時の子どもたちの達成感に満
ちた顔がキラキラと輝いていま
した。夏休みの素敵な思い出の
一つとなったことでしょう。



資源回収に
ご協力ください!!

掃水地区の皆様には、日頃から
資源回収にご協力いただきありが
とうございます。

皆様の積極的なご協力で

◎燃えるゴミが減り、清掃工場の
負担が減ります。

◎資源を再利用することで、限り
ある資源を大切にできます。

◎資源回収は各自治会及び自治会
連合会の収入源となっております。
す。

掃水まちづくり協議会の運営は
自治会連合会からの補助金及び
松阪市の交付金で行っています

掃水地区のより良いまちづくり
の為に、是非資源回収にご協
力ください!!